

北海道中学軟式野球連盟 第43回 全道中学生軟式野球大会 要項



大会ルール、特別規定

- A** 基本は、2023年度、公認野球規則、競技者必携による。
- B** 大会参加登録選手及び監督、コーチの登録
ベンチ登録選手は25名以内とし、背番号は「0」番から「99」番までとする。また、監督1名、コーチ3名はベンチに入ることを許可する。この際ユニフォームを着ていない指導者のベンチ入りを固く禁止する。さらに、監督は30番、コーチは27番～29番の背番号をつけること。事情がある場合は試合前に相手監督、審判員、事務局へ申し出る事。
- C** 試合時間と試合成立及びコールドゲームの適用
試合は、7回戦トーナメント、2時間00分以内とする。(但し、後攻チームリードの場合の時間打ち切りは適用しない)
時間規定についての詳細は本部へ確認すること。成立は4回終了とし、天候、得点差によるコールドゲームを適用する。
得点差によるコールドゲームは、4回終了10点差、5回以降7点差とする。(決勝戦は適用しない)
また、暗黒、降雨で試合が中止になった場合、4回以前に終了した場合はノーゲームとし、4回を過ぎて試合が成立し、同点で中止になった場合は再試合にしないで特別継続試合とする。但し、決勝戦はこの限りではない。
- D** 投球制限について
投手の投球制限は、1日7イニングとし、コールドゲームがあった場合には、1日合計7イニングとする。
尚、延長戦直前の回を投げ切った投手は延長戦の投球を認めることとする。
イニングに端数が生じた場合は、3分の1(1アウト)でも、1イニングの投球をしたものとする。
チーム事情等ある場合には事前に大会本部へ相談することとする。
- E** 特別延長戦の適用
2時間00分を過ぎて勝敗が決しない場合、特別延長戦として1アウト満塁で4番打者からとし、勝敗が決するまで行う。
特別延長戦を行って尚も同点の場合は次回も同じく1アウト満塁で4番打者からとし、これを勝敗が決するまで繰り返す。
時間内で同点の場合は継続延長戦を行い、継続延長戦は最大9回までとし、10回からは特別延長戦を実施する。
- F** ユニフォーム、使用する道具について
ユニフォームはチーム同一色とし、華美な色は慎むこと、指導者のストレートパンツの着用は禁止とする。
捕手はレガーツ、プロテクター、ヘルメット、ファウルカップの使用を義務付ける。マスコットバット、バットリング等の試合に使用しないものの使用、持込を禁止する。ベンチ内のメガホンの使用は、ベンチ内に1個に限ることとする。
- G** 試合の疑義、アピール、タイム回数について
疑義アピールについては、当該プレーヤーと監督のみとする。監督は疑義の申し立てをするときは「タイム」を宣告し節度ある態度に徹すること。疑義の申し立て、タイム時以外で監督がベンチから出ることを禁止する。
また、審判員のストライク・ボール、アウト・セーフ等の判定に対する抗議はできないものとする。
タイムは守備3回、攻撃3回の計6回までとする。延長戦に入った場合は、1イニングに守備、攻撃共に各1回とする。
- H** ベンチ確保、ファールボール、シートノックについて
ベンチは番号の若い方を一塁側とする。ファールボールは両サイドを各々のベンチで行い、バックネット側は攻撃チームの担当として徹底してください。シートノックは後攻から5分間とする、天候や試合の進行状況によっては中止することもある(大会本部の判断にて)。シートノックの際はベンチ登録以外の選手がグラウンド内に入ることを許可するが、終了時には速やかにグラウンド内から出ること。ボール渡しの補助員はヘルメットを着用する。
- I** 球場の利用について
勝利チームはグラウンド整備の協力をお願いします。また、ゴミの始末等にもチームの指導を徹底してください。
駐車場でのトラブルには関与できませんので、駐車マナーを守ること等、応援者にも指導徹底願います。
- J** メンバー交換とブルペン使用、その他事項について
前の試合の4回裏終了後、各チームの主将、監督はメンバー表3通を持って、大会本部に来てください。
また、バッテリーのブルペン使用は、5回に入った時点から可で必ず許可をもらって入ってください。
連盟ホームページに掲載用の記録スコアシートを記入、提出して頂きます。用紙はメンバー交換時にお渡します。
- K** その他の注意事項
大会期間中の熱中症対策等は、各チームで責任を持って行ってください。
チームは中学生のチームらしく、スポーツマンらしい態度で大会に参加すること。野次等の行為をなくし、敵味方関係なく好プレー等には拍手を送り、全力でプレーすることを指導者も指導を心掛けください。